

水道水中のPFAS（ピーファス）の検査結果について

有機フッ素化合物を総称してPFAS（ピーファス）と呼び、1万種類以上の物質があるとされています。

PFASの中でもPFOS（ピーフォス）、PFOA（ピーフォア）は、幅広い用途で使用されてきました。具体的には、PFOSは、半導体用反射防止剤、金属メッキ処理剤、泡消火薬剤などに、PFOAは、フッ素ポリマー加工助剤、界面活性剤などに主に使用されてきました。

PFOS、PFOAは、コレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連があり、人体において影響を及ぼすことが指摘されています。

厚生労働省では、水道水について、2020年にPFOS、PFOAを水質管理目標設定項目に位置付け、PFOSとPFOAの合算値で50ng/L以下（化学的知見に基づき、体重50kgの人が水を一生涯にわたって毎日2L飲用したとしても人体に影響を及ぼさない値）とする暫定目標値を定めました。《1ng（ナノグラム）は10億分の1g。例えば東京ドーム1つ分の容積の水（120万㎡）に1.2gが含まれている時の濃度と同じ》

本町では、令和7年1月7日に町内に4つある浄水場の浄水について採水し、PFOSとPFOAの水質検査を実施しました。

検査結果は、下記のとおり水道水の水質目標値に適合し、安全に問題ありません。

中川町の水道水PFAS検査結果

市町村名	浄水場名	PFOS+PFOA (ng/L)
中川町	中川浄水場	定量下限値未満※
中川町	国府中央（豊里）浄水場	定量下限値未満※
中川町	佐久浄水場	定量下限値未満※
中川町	安平志内（共和）浄水場	定量下限値未満※

※水質検査に使用している分析機器で正確に測定できる限界値5ng/Lを下回っている意味です。

国は、PFOS、PFOAについて浄水の年4回の検査と原水の年1回の検査を基本とする水質基準に格上げするための関連省令を改正し、令和8年4月の施行を目指しています。